

昨年12月議会及びこれまでの経過につきましては私のホームページ (<https://fujii-takahiro.com/> 藤井たかひろ 倉吉等で検索でも可です) に4回に分けて関係記事は載せています(2月3日現在)が、

①12月2日に市長より「公立保育所再編整備事業」として、測量設計委託料2080万5千円と土地購入費7618万8千円の提案がありました。

②次に、12月11日の全議員が所属する予算決算常任委員会に変更案(定員:114名→80~90名、敷地面積:12698㎡→8~9000㎡、建物面積:1930㎡→1600㎡、総事業費:18億3千万円→13億6千万円)が出され、予算に関係してかなりの時間をかけ審議をしました。

③また、12月13日の厚生文教常任委員会(この議案に予算以外で直接関係していて全議員の半分が所属)でも審議がなされました。

私は②③に所属していますので、この会で発言・質疑した概要については大まかですが、  
○定員80~90名の根拠について。単純に人口推計からの試算だけでなく、通園意向(義務教育でない幼児教育なので保護者や家族の事情を把握すべき。自宅に近い、保護者の勤務地近く、祖父母等面倒を見てもらえる場所等が選択優先となるのではないかなど)をきちんと調べたのか。80~90という数字は甘いのではないかなど。

○定員がきちんと把握できないと、建物や施設内容は決まらない。

○市のどこからでも通いたくなる園(厚生文教常任委員会での部長発言)としたいのは同じだが、そうであるなら、もう少し便のいい場所・造成の必要がない場所があればよいと考える。それなら予算をかけてもみんなが納得できる。等でした。

他の議員もそれぞれ意見を述べています。各種マスコミ等で報道されたのは一部ですが、予算決算常任委員会では2時間以上、厚生文教常任委員会でもかなりの時間をかけて議論しています。各議員とも発言には重み・責任を持っています。また、「7年たっても予算、場所のことを」という方もおられますが、このことを議論・採決するのが議会の責務です。

蛇足ですが、現在、テレビ中継等はNCNのみで、本会議のみとなっています。また、予算(決算)常任委員会を持っていなかったのは県内で倉吉市だけでした。3年半前から2年間委員長を務めた「議会改革推進特別委員会」で県外視察等も踏まえ、議会基本条例の制定と予算決算常任委員会の新設及び3つあった常任委員会を2つにしました。本来は、予算決算常任委員会や2つの常任委員会での審議が市民の皆さんにとって必要な情報だと考えます(昨年11月に開催した自治連の会長13名と第2次議会改革推進特別委員会9名の会合でも必要だと会長さんからの発言もありました)が、情報提供ができていません。このことについては議会事務局も必要性を感じており、来年度予算に要求をしています。

④12月18日、議会最終日に市長より「議案の撤回について」提案がありました。当初の内容を変更して予算決算常任委員会が出された資料を審議するよという内容です。別の案が出てくるのではなく、これまで審議し、予算決算常任委員会でも否決された内容の提案なので当然ながら不同意とせざるを得ませんでした。そのため、元の議案で審議となりましたが、12月議会では公立保育所再編意外にも30ほどの補正予算があったため、この部分を除いた予算案を全員賛成で採決しました。

以上が概要です。保育所再編事業そのものに反対の議員はいません。今後の方向について、議員各人で異なる面があるのは事実です。できるだけ早く解決したいと考えますが、市長の今回の提案には賛成できないということで否決になったということです。新たな案(市長提案)をもとに早急な解決を望むものです。